

平成31年3月31日

新潟市立乳児院
平成30年度 事業報告書

指定管理者

社会福祉法人 愛宕福社会

理事長 石崎 昂一

1. 管理運営業務の実施状況

今年度は、定員の見直しをしていただき、10名2ユニットでの運営をおこなった。また、子どもの入退所が少ない年度となり、里親への委託は、一時保護からの1件にとどまっている。保護者の引き取り希望とその希望に寄り添った支援を実施しているが、入所が長期化する見通しとなっているケースが多かった。

質の向上の取り組みとしては、自立支援計画に対するモニタリングを毎月実施し、アセスメント、再アセスメントを担当者を中心にユニットメンバー、他職種で行い、さまざまな角度から子どもの支援、家庭支援、について検討し実施していった。また、日々の生活の中で、一般家庭の子どもが経験できるようなことを日々取り入れ、豊かな生活を実施していった。

一時保護、ショートステイの受け入れにより、子どもの生活に影響があり、受け入れに際しては、場所や人数などの課題も大きい。

2. 苦情及び要望等の受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

職員の対応について→解決済み

3. 里親研修受け入れ

月 日	里親の区分・組数	管轄児相	実習内容
4月18日19日	養育里親 1組(2人)	新発田	養育の手技・乳幼児との関わり
7月30日31日	養育養子縁組里親1組(2人)	新潟市	養育の手技・乳幼児との関わり
8月22日23日	養子縁組里親1組(2人)	長岡	養育の手技・乳幼児との関わり
9月20日21日	養子縁組里親1組(2人)	新潟市	養育の手技・乳幼児との関わり
12月19日	専門里親研修(1人)	長岡	養育・乳幼児との関わり
1月14日	専門里親研修(1人)	長岡	養育・乳幼児との関わり

*研修終了後にアンケート実施：満足度100%

4. 実習生受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0

合計受け入れ数5名

*実習生がより子どもを理解できるような体制での実習を行った。

5. ボランティアの受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	4	8	12	11	11	17	16	19	13	23	18	13

合計受け入れ数 165名(前年162名) 3名増

*定期ボランティア2組 アリスの会(3名) にゃんこの会(2名)

*10月以降、不定期保育ボラ(保育士)

6. マニュアルの改訂

マニュアルの差し替えについては、昨年度の計画どおりおおよそ80%の差し替えを実施した。見直ししきれなかったもの、確認していく中でさらに変更が必要なものに関しては、次年度中に確認をしていきたい。

7. 収支決算書

別紙参照

8. その他の事業について

BP プログラム

新潟市の委託事業として年間4回実施。

6月	8名	8月	8名
10月	8名	12月	6名

ファシリテーターは施設職員1名

少人数での実施。参加者はその後、八千代保育園に併設の子育て支援センターへのご案内をして繋げる。また当施設で実施した離乳食講座にも参加した。

9. 要求水準・目標値

今年度も里親研修の受け入れを実施した。予定は3組だったが、感染症流行や里親実習者の都合等により1組は昨年度の持越しの里親さんだった。また、専門里親研修も2名受け入れ、施設としても里親制度についての理解を深めた。里親研修後に実施したアンケート調査では満足度としては100%となっており、里親実習研修をした方にも施設を理解していただけたと感じた。

今年度はおおよそ8割程度のマニュアルを、4年間業務遂行中での変更、改善点を踏まえ、改訂した。次年度は残りのマニュアルの見直し等も実施していきたい。

ヒヤリハットは980件あがり、時間、場所、内容等の分析を毎月行い、なおかつ昨年度の同時期のヒヤリハットを確認し、次月の起こりそうなヒヤリハットの予測を行うなどして事故防止に努めた。

ショートステイなどの受け入れも積極的に行い、地域の子育て支援にも貢献した。BPプログラム終了した人を対象に離乳食講座を開催し、子育ての悩みなどを気軽に話せる場づくりをした。